

博物館だより



3代歌川豊国画《^{かい が たけりゅう えもん}階ヶ嶽龍右衛門》嘉永年間(1848～52年頃)

版元 ^{わかさ}若狭屋与市、サイズ 25.4cm×37.4cm、佐伯孝夫氏蔵

この図は浮世絵のうちの相撲絵である。画面いっぱいに描かれた化粧まわし姿の力士は時の西前頭階ヶ嶽龍右衛門(1817～68)である。階ヶ嶽はその後、安政3年(1856)11月に当時最高位の大関に昇進した。

階ヶ嶽は文化14年(1817)に越中国^{となくみ}砺波郡戸出村(現在の高岡市戸出)に生まれ、草相撲で活躍したのち巡業で訪れた鏡岩に見出され、江戸相撲に入門した。新入幕は弘化5年(1848)正月で、以後安政4年正月2日目に両手を負傷しこれが最後の土俵となった。同6年(1859)正月引退した。年寄名は^{くまがたに}熊ヶ谷、その後2代目^{たけくまぶん}武隈文右衛門と名乗る。のち郷里で相撲を指導し、明治元年(1868)10月23日に死去した(享年52)。

階ヶ嶽を描いた浮世絵は集合図を合わせ現在約20点確認されている。化粧まわしの図柄は八戸藩南部家の印紋を意匠とした「三つ石持」の紋である。

3代豊国(1786～1864)は江戸本所生まれ。初代豊国に入門した後、国貞と称した。^{こ と てい}号は五渡亭、^{こうちやうろう}香蝶楼、^{いちゆうさい}一雄斎、^{いちようさい}一陽斎など。役者絵や美人画で絶大な支持を得た。

【2023年7月29日(土)～10月9日(月・祝) 特別展「浮世絵に描かれた加越能 ～佐伯コレクションの世界～」に展示予定】



利長くん

令和4年度の高岡市立博物館

◆常設展「高岡ものがたり ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

本展では、高岡市の歴史・民俗・伝統産業等について、適宜展示を充実させながら分かりやすく紹介しています。また今年度より開始した高峰譲吉別荘「松楓殿」関係資料展示室（新館第3企画展示室）も通年で開催しています。

【お宝コーナー】

今年度、本展示コーナーでは4つのミニ展示を行いました。「商店広告にみる高岡」（会期：4/16～6/19）では、当館収蔵資料『旅客鉄道 高岡駅』（昭和7年）掲載の商店広告を中心に、関連する絵葉書、古写真などを展示・紹介しました。「高岡初の町絵師・堀川敬周の新収品」（会期：7/16～9/19）では、当館が収蔵する高岡初の町絵師・堀川敬周（1789頃～1858）の作品のうち、新収蔵・未公開資料を展示し、敬周が描く日本画の世界を紹介しました。「高岡漆器の魅力」（会期：10/22～12/25）では、当館収蔵の高岡漆器（彫刻塗・青貝塗・勇助塗等）のうち、近年収集した新資料・未公開資料を含めた資料を展示し、高岡の漆芸の魅力を紹介しました。現在は「国泰寺のお宝① 伝近藤勇の甲冑」（会期：R5.1/21～3/21）を開催中です。本展示コーナーでは、高岡市太田の国泰寺（臨済宗国泰寺派大本山）に山岡鉄舟（1836～88）が寄進した新選組局長・近藤勇が着用したと伝わる甲冑（紺糸威二枚胴具足）を展示・紹介しています。今後も当館では国泰寺の宝物・資料を調査し、少しずつ紹介していく予定です。



お宝コーナー「商店広告にみる高岡」（4/16～6/19）



お宝コーナー「高岡漆器の魅力」（10/22～12/25）



高峰譲吉別荘「松楓殿」関係資料展示室

◆特別展・館蔵品展、教育普及活動

館蔵品展「昔の道具とくらし」（会期：4/1～7/10）では、当館が収蔵する衣・食・住などの古い生活道具類「民具」のほか、双六や見立番付を含めた資料（計68件72点）を展示・紹介しました。特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」（会期：7/30～10/10）では、高岡出身の世界的科学者・実業家で日米親善に尽くした高峰譲吉（1854～1922）の没後100年にあたり、高峰譲吉博士顕彰会所蔵で当館寄託の高峰譲吉関係資料をはじめ、近年高岡市教育委員会に寄贈された譲吉のニューヨーク郊外の別荘「松楓殿」に関わる調度品、工芸品など（計108点149点）を展示し、“無冠の大使” 高峰譲吉の功績について紹介しました。館蔵品展「新資料展 一国宝指定答申記念 勝興寺関連文書を中心に」（会期：11/26～R5.1/15）では、近年新たに収蔵された博物館資料（計63件66点）を展示し、特に同年10月12日に国宝指定答申（12月12日指定）のあった勝興寺関連の古文書などを紹介しました。現在は、館蔵品展「昔の道具とくらし」（R5.2/4～）を開催中です（「嫁のれん」を特集展示。次年度7月9日まで開催予定）。

講演・講習会では、郷土高岡に関わる様々な話題について各研究者よりご紹介いただく郷土学習講座（全3講）をはじめ、当館職員による特別展講演会（8/6）、古文書講座（9～11月。全6講）も開催しました。また今年度は新たな試みとして、伝統工芸高岡漆器協同組合と当館の両者が合同で企画・主催した伝統産業講習会「漆製品の取扱い」（8/9）を行いました。本講座では漆器の取扱い方や保管方法等について学んだほか、受講者が持参した漆製品の補修・修繕に関する相談も承るなど、漆器への愛着や親しみを深めることができる機会となるよう今年度初めて開催しました。そのほか桜の開花時期にあわせた屋上開放「古城公園展望台」（4/1～4/3、4/9、4/10）、当館茶室「松聲庵」で行う呈茶の会（4/9、11/5）を開催するなど、コロナ禍の開催ではありましたが、今年度も多くの方々に博物館へご来館いただきました。



郷土学習講座 第1講（嘉瀬井氏）（6/25）



伝統産業講習会「漆製品の取扱い」（8/9）



特別展「没後100年 高峰譲吉記念展」
（7/30～10/10）

新収蔵資料紹介（令和5年1月31日現在）

・購入（13件15点。購入順）

No	資料名称	点数	分類
1	年未詳(1610～13年カ)7月29日付 前田利長書状(三ゑもん宛)	1	歴史
2	年未詳4月22日付 前田利長書状(宛所不明)	1	歴史
3	『伏木港 THE PORT OF FUSHIKI』	1	歴史
4	『実業之日本』第10巻第1号(「高峰讓吉氏及其家庭」収録)	1	歴史
5	料亭開業広告(高岡公園池の端通り 池の端亭)	1	民俗
6	米買仕切書(藤井能三より渡辺太平宛)	1	歴史
7	映画チラシ「日本海大海戦」(高岡大和劇場)	1	民俗
8	勝興寺本堂再建に付本願寺17世法如勸募消息写(勝興寺第19世法薫筆)	1	歴史
9	筏井竹の門画賛《紙本淡彩檜扇図》	1	美術
10	尾崎康工編『俳諧 金花伝』上下巻	2	歴史
11	写真「高岡駅水見線(EF70、キハなど)」	1	歴史
12	高岡桜馬場・花より軒ラベル「桜あんころ」・「さくらおやき」	2	歴史
13	『実地 養蚕演説』(高峰讓吉「人造肥料の説」収録)	1	歴史

・寄贈（57件321点。受入順）

No	資料名称	点数	分類	寄贈者	No	資料名称	点数	分類	寄贈者
1	看板「日清紡績高岡工場職工募集事務所」	1	歴史	高畑弘樹氏	30	のり刷毛	1	民俗	
2	富山県内外・高岡市内各種地図、観光リーフレット、パンフレット、町村誌、絵葉書など	(一括)	歴史	北浦 隆氏	31	木琴	1	民俗	山口信司氏
3	ラチウチキ(中耕除草機)	3	民俗		32	竹馬	2	民俗	
4	センバコキ(千歯扱き)	1	民俗	澤田宣亮氏	33	五十嵐政雄宛委嘱状(立憲政友会富山県支部創立委員、富山県貿易協会常議員)	2	歴史	
5	ベイセンキ(米選機)	1	民俗		34	堀川敬周筆《紙本著色龍虎図屏風》	1	美術	
6	桜井梅室句賛・堀川敬周画《紙本墨画淡彩富士図》	1	美術		35	堀川敬周筆《紙本墨画淡彩色紙貼交屏風》	1	美術	小竹史剛氏
7	『イリュストラシオン』第115・116巻	2	歴史		36	堀川敬周筆《紙本淡彩松に群鶴図》	1	美術	
8	『1900年パリ万博日本館パビリオン』	1	歴史		37	寄せ書き図巻	1	美術	
9	俳誌『熱』(第27・28・31号)	3	歴史		38	高岡市白金町表具商・稲垣伊助帳簿	1	歴史	白雲堂・稲垣順一氏、吉田 茜氏
10	俳誌『新俳句』	1	歴史		39	加賀藩藩札	5	歴史	
11	俳句選集『新選一萬句』	1	歴史		40	小川芋銭書簡(筏井竹の門宛)	1	歴史	
12	俳句選集『続春夏秋冬』	4	歴史		41	「高岡持久会第十回浄瑠璃見立鑑」	1	歴史	須賀正紀氏
13	俳句選集『新春春夏秋冬』	1	歴史		42	「高岡持久会素人浄瑠璃見立鑑」	1	歴史	
14	俳句選集『ホトトギス雑詠集』	1	歴史		43	和歌短冊(筏井竹の門画・筏井嘉一歌、嘉一歌)	2	美術	
15	俳誌『ホト、ギス』(第12巻第3号)	1	歴史	匿名希望	44	高岡駅ホーム看板「たかおか」	1	民俗	狩野 勉氏
16	俳誌『林檎』(第1集・第2集)	2	歴史		45	紙幣各種	8	歴史	山本榮一氏
17	『竹乃門遺墨集』	1	歴史		46	地籍図(内島)	4	歴史	杉江勇夫氏
18	『巨人高峰博士』	1	歴史		47	屏風の下貼文書	(一括)	歴史	和田日出雄氏
19	『商工世界 太平洋 臨時増刊6 第8巻第10号「発明界の四十七士」』(高峰讓吉収録)	1	歴史		48	筏井竹の門書簡	5	歴史	匿名希望
20	絵葉書「富山県立高岡高等女学校」	1	歴史		49	高倉一二画《上高地》	1	美術	
21	絵葉書「(高岡名勝) 高岡の大仏」	1	歴史		50	日の丸寄せ書き	1	歴史	園木四郎氏
22	地形図「高岡」	1	歴史		51	男物高足駄	2	民俗	
23	書簡(為替渡しに付)(中嶋屋新七より羽広屋勘作宛)	1	歴史		52	女物高足駄	2	民俗	坪田孝弘氏
24	「米穀輸送証明書」(高岡市→川崎市)	1	歴史		53	通い徳利(1升入り)	3	民俗	
25	親鸞聖人御誕生八百年慶讃法要懇志進納状	1	歴史		54	高岡漆器類	23	民俗	和田将典氏
26	記章類(国勢調査記念章、日本赤十字社など)	5	歴史	太田久夫氏	55	高橋政直(生源寺新村四郎三郎)由緒書	1	歴史	窪池武人氏
27	古府焼 湯呑	5	民俗		56	短刀 銘 幸重(窪池家伝来)	1	美術	
28	青貝塗梅花文丸盆	1	民俗		57	梅田年風筆《紙本墨画淡彩俳諧百一首図屏風》	2	美術	吉田 清・節子氏
29	親鸞著『七高僧和讃』・『正像末浄土和讃』(後欠)	2	民俗						

※購入・寄贈資料の詳細は、『高岡市立博物館年報 第37号』を参照のこと。

資料ご寄贈のお願い

当館では、絵図・古文書や古写真などの「歴史資料」、古い生活道具や農具などの「民具」や銅漆器など高岡の伝統産業に関わる資料を収集しています。これらの資料は後世に歴史や生活文化等を伝える貴重な「文化遺産」です。お持ちの方はぜひご寄贈いただきたくお願い申し上げます(高岡関係の資料に限らせていただきます)。

高岡市立博物館 スケジュール(予定) 2023年4月～2024年3月

イベントスケジュール			
展 示		イベント・講座	
4月	4/1 常設展「高岡ものづくりの歴史」 4/1 高岡市立博物館 関係資料展示室(通年開催)	4/8 「呈茶の会ー博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんかー」	
5月			
6月		6/24 郷土学習講座「砺波平野の歴史と散居村の成立」	
7月		7/29 特別展「浮世絵に描かれた加越能ー佐伯コレクションの世界ー」展示説明会①	
8月		8/5 伝統産業講習会「鉄瓶のお話と手入れ方法」 8/26 郷土学習講座「高岡商人の人脈と地域社会ー近世・近代移行期の岡本清右衛門家の事例ー」	
9月		9/2 特別展講演会「浮世絵に描かれた越中の力士と風景」 9/7 古文書講座「初めての古文書教室」① 9/9 特別展「浮世絵に描かれた加越能ー佐伯コレクションの世界ー」展示説明会② 9/21 古文書講座「初めての古文書教室」②	
10月		10/5 古文書講座「初めての古文書教室」③ 10/7 特別展「浮世絵に描かれた加越能ー佐伯コレクションの世界ー」展示説明会③ 10/19 古文書講座「初めての古文書教室」④ 10/21 「呈茶の会ー博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんかー」	
11月	11/2 企業展「山形県産品」(2023年10月20日～11月10日) 11/2 松聲庵展「Second season」(2023年11月2日～11月10日)	11/11 郷土学習講座「高岡の地名についてー命名の意図を読み解くー」 11/16 古文書講座「初めての古文書教室」⑤ 11/30 古文書講座「初めての古文書教室」⑥	
12月			
1月			
2月		2/3 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会①	
3月		3/9 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会②	

＜当館イベントに参加される方へ＞
・入館時の検温、アルコール消毒液による手指消毒、手洗いにご協力ください。
・発熱、咳、のどの痛みなどで体調が悪い場合は来館をご遠慮いただく場合があります。
・上記イベントの日程や内容は変更となる場合があります。最新情報については当館ホームページやSNS等をご確認ください。

※上記の他に親しむ会イベントも多数開催予定 (HP等を参照)

◆令和5年度 郷土学習講座 (全3回)

郷土高岡に関わるさまざまな話題について紹介いただく連続講座を開催します。

◇演題:「砺波平野の歴史と散居村の成立」

講師: 高原 徹氏 (砺波郷土資料館 元館長)

日程: 6月24日(土) [申込開始: 5月24日(水) 午前9時より]

※とやま呉西圏域連携事業としても開催

◇演題:「高岡商人の人脈と地域社会ー近世・近代移行期の岡本清右衛門家の事例ー」

講師: 二谷 智子氏 (愛知学院大学 経済学部 教授)

日程: 8月26日(土) [申込開始: 7月26日(水) 午前9時より]

◇演題:「高岡の地名についてー命名の意図を読み解くー」

講師: 中葉 博文氏 (日本地名研究所 理事)

日程: 11月11日(土) [申込開始: 10月11日(水) 午前9時より]

いずれも、

- ・時 間: 午後2時～3時30分
- ・会 場: 当館新館3階講堂
- ・定 員: 45名 (先着順・要申込)
- ・受講料: 300円 (当館親しむ会会員は200円)
- ・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。

※講師の肩書は、令和5年2月現在のものです。

◆令和5年度 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)

古文書は貴重な歴史の証言者です。郷土の歴史を再発見してみませんか? 今年度も、古文書解説初心者の方を対象とした古文書教室を開催します。

・日 程

[第1講] 9月 7日(木) [第4講] 10月19日(木)

[第2講] 9月21日(木) [第5講] 11月16日(木)

[第3講] 10月 5日(木) [第6講] 11月30日(木)

・時 間: 午後2時～3時30分

・講 師: 当館・仁ヶ竹主幹

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 45名 (先着順・要申込)

・受講料: 2,000円 (当館親しむ会会員は1,800円)

・申込開始: 8月8日(火) 午前9時より開始 (定員に達し次第締切)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。



◆呈茶の会「一博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか」

柔らかな日差しが降り注ぐ森の中の古いお茶室で、本格的なお茶席をお楽しみいただけます。古城公園へのお散歩がてら、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

・日 時: 4月8日(土)、10月21日(土)

午前10時～午後3時

(受付は午後2時30分まで)

・場 所: 当館茶室「松聲庵」

・参加料: 500円 (お菓子付)

※茶券は当日受付にて販売

※一席に茶室内へ入室できる人数が限られているため、長時間お待ちいただく場合があります。



茶室「松聲庵」は
1日4,000円(税別)で利用可。

◆特別展「浮世絵に描かれた加越能ー佐伯コレクションの世界ー」

富山県を代表する郷土の浮世絵コレクターである佐伯孝夫氏 (高岡市福岡町在住) のコレクション展。幕末に活躍した戸出出身の大関 (当時最高位) 階々嶺龍右衛門などの相撲絵や、初代広重が伏木を描いた貴重な「山海見立相撲 越中国府湊」のほか、源義仲・佐々成政など越中ゆかりの武将絵なども紹介します。

・会 期: 7月29日(土)～10月9日(月・祝)

・会 場: 当館新館企画展示室

・入館料: 無料

◇会期中のイベント

①講演会

・演 題:「浮世絵に描かれた越中の力士と風景」

・講 師: 佐伯 孝夫氏 (郷土浮世絵蒐集家)

・日 時: 9月2日(土) 午後2時～3時30分

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 45名 (先着順・要申込)

・受講料: 300円 (当館親しむ会会員は200円)

・申込開始: 8月2日(水) 午前9時より開始 (定員に達し次第締切)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号をお知らせのうえ、お申し込みください。

②展示説明会 (全3回)

・日 時: 7月29日(土)、9月9日(土)、10月7日(土) 各日午後2時～2時30分

・講 師: 佐伯 孝夫氏 (郷土浮世絵蒐集家)

・受講料: 無料 ・申込不要



一開館時間一
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

一休館日一
毎週月曜日
(月曜日が祝・休日の場合は
その翌平日)

年末年始
(12月29日～1月3日)

一交 通一
高岡駅から徒歩約15分
一入館無料一